秋田市立旭川小学校「森の学校」

東北森林管理局 技術普及課、秋田森林管理署

東北森林管理局では、平成27年度から秋田市立旭川小学校５年生の「総合的な学習の時間」に森林教室を行っています。この森林教室は毎年、秋田市太平山自然学習センターまんたらめで実施しており、令和５年度は「森と木の学習」、「丸太切り体験」、「種飛ばし実験」の３つのメニューを体験していただきました。

MENU 1 森と木の学習

森林の役割や管理の仕方、木材利用について紹介しました。子供たちは、メモをとったり小さな木の輪切りを観察したりと、真剣に学んでいました。また、この学習を通して、鉛筆や机など身の回りに木製品があふれていることを再認識していました。

子供たちの感想

- 森林には色々な役割があって、森林があるから人や動物が暮らせていることが分かった。
- 森林の大切さについて学ぶことができた。
- 木が土砂崩れを防いでいることがすごいと思った。
- 木で作られた製品に興味を持ったので、木製品を使おうと思った。

MENU 2 丸太切り体験

昔の大きいノコギリや現代のチェーンソーを見たり触ったりしながら、木を切る道具の進化について学んだ後、実際にノコギリを使った丸太切り体験をしました。子供たちは、思うように切れずに苦戦しながらも、最後まで力強く切っていました。

子供たちの感想

- 昔と現代のチェーンソーを持ち比べたのが楽しかった。
- 昭和のチェーンソーはすごく重かったけど、現代のチェーンソーは軽かった。
- 昔のノコギリが大きくて驚いた。
- 木を切るときに結構力が必要だったけど、すごくきれいに切れたので嬉しかった。

MENU 3 種飛ばし実験

様々な樹木の種の形や大きさ、運ばれ方について、クイズを交えて紹介しました。また、折り紙やクリップで種の模型を作って飛ばし、種の飛び方を観察しました。子供たちは、くるくる回りながら落下するカエデやマツの種に興味津々でした。

子供たちの感想

- 種によって運ばれ方が違うというところがおもしろかった。
- 種がどのように飛ぶかを知ることができた。色々な飛び方があって楽しかった。
- 木は色々工夫して子孫を残すということが分かった。
- 風を使って種がどのように飛ぶのかを実際に確かめたい。